令和５年度　異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト申請書

１．申請者情報等

|  |  |
| --- | --- |
| 申請年月日 | 2023年2月\*日 |
| ふりがな | こうべ　たろう　（赤字は例・説明であり黒フォントで記入） |
| 氏　名 | 神戸　太郎 |
| 学籍番号 | \*\*\*X\*\*\*X |
| 大学の電子メールアドレス | \*\*\*x\*\*\*x@stu.kobe-u.ac.jp （保有していない場合は空欄） |
| 個人の電子メールアドレス | \*\*\*x\*\*\*x@\*\*\* （連絡可能なアドレスを記入すること） |
| 生年月日 | 199\*年\*\*月\*\*日 |
| 学　歴（学部・修士） | 2017年4月　神戸大学工学部電気電子工学科入学2021年3月　同上卒業2021年4月　神戸大学大学院博士課程前期課程進学（工学研究科電気電子工学専攻）2023年3月　同上修了見込 |

博士課程後期課程/博士課程

|  |  |
| --- | --- |
| 入学年月 | 2023年\*月\*日  |
| 研究科 | 工学研究科 |
| 専攻 | 電気電子工学専攻 |
| 学年 | 1（2023/4/1時点の学年。ただし、2023/10/1入学見込みの学生は2023/10/1時点の学年） |

指導教員

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな | 〇〇〇〇　〇〇〇〇 |
| 氏　名 | 〇〇　〇〇 |
| 職　名 | 教授 |
| 研究科 | 工学研究科 |
| 専　攻 | 電気電子工学専攻 |
| 電子メールアドレス | \*\*\*\*\*@\*\*\*\*.kobe-u.ac.jp |

審査区分

|  |  |
| --- | --- |
| 第１審査区分 | 52 |
| 第２審査区分 | 41 |
| 第３審査区分 | 42 |

**【研究題目】**※40字以内（記号、数値、全角/半角に関わらずすべて１字として数える）の和文で簡潔に記入

|  |
| --- |
| 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 |

|  |
| --- |
| **２．【研究実績及び研究計画】**（2頁に収めてください。）※適宜概念図を用いるなどして、専門外の方にも理解してもらえるように、わかりやすく記入してください。文字サイズ10.5ptとし、行間は変えても構いません。カラーを使用しても構いませんが、審査段階で白黒印刷とする可能性があります。数理・データサイエンス、異分野共創型研究、挑戦的研究、新規研究分野の開拓、社会課題解決に関わる内容があれば、その内容を含めて下さい。**(1) 研究実績****(2) 研究の位置づけ****(3) 研究目的・方法・内容****(4) 研究遂行能力** |

|  |
| --- |
| **３．【将来計画】**（２頁に収めてください。）　学位取得後、博士課程での経験を活かし、どのような展開が考えられるかについて記述してください。※適宜概念図を用いるなどして、専門外の方にも理解してもらえるように、わかりやすく記入してください。文字サイズ10.5ptとし、行間は変えても構いません。カラーを使用しても構いませんが、審査段階で白黒印刷とする可能性があります。数理・データサイエンス、異分野共創型研究、挑戦的研究、新規研究分野の開拓、社会課題解決に関わる内容があれば、その内容を含めて下さい。 |

|  |
| --- |
| **４．学位取得までのスケジュール**（１頁に収めてください。）　学位論文審査までのスケジュールを記入して下さい。下は工学研究科の例です。各研究科の学位論文審査の基準に照らし合わせて計画してください。学会発表や論文投稿はあくまで目標です。過去に遡って入学（もしくは進学）から既に行ったことも記入して下さい。 |

2023年度

年度は各自に合わせて修正してください。また、青字は消去してください。

4月 〇〇〇〇に関する研究を開始

9月 ××学会で発表（〇〇〇〇・・・・に関する研究）

2月 論文投稿（1編目）（〇〇〇〇・・・・に関する研究）

3月 研究成果発表会

2024年度

4月 △△△△に関する研究を開始

9月 ××学会で発表（△△△△・・・・に関する研究）

11月 論文投稿（2編目）（△△△△・・・に関する研究）

12月 ××国際会議で発表（△△△△・・・・に関する研究）

1月 □□□□に関する研究を開始

3月 研究成果発表会

2025年度

8月 論文投稿（３編目）（□□□□・・・・に関する研究）

9月 ××学会で発表（□□□□・・・・に関する研究）

11月 研究成果発表会・予備検討委員会

12月 ××国際会議で発表（□□□□・・・・に関する研究）

1月 学位論文審査会